

人材不足の現状と課題 について

北九州市産業経済局
雇用・産業人材政策課

アジェンダ

I 北九州市の雇用情勢

II 4つの課題

- 1 若者の採用や定着
- 2 多様な人材の活躍
(女性・シニア・外国人)
- 3 多様な働き方
(副業・スポットワーク・テレワーク等)
- 4 DX等の生産性向上

I 北九州市の雇用情勢

I 北九州市の雇用情勢

就業人口の動向

約**40**万人(R2年国勢調査)

R2年就業人口は400,010人 5年前に比べ**▲15,082人(▲3.6%)**

※就業人口のピーク 約46万人(昭和45年国勢調査)

■特に25～44歳の減少が顕著

	(H27年度)		(R2年度)	
	163,917人	▶	136,261人	▲27,656人

■ミドル・シニア世代の労働参加が進む

	(H27年度)		(R2年度)	
(45歳～54歳)	88,833人	▶	94,294人	+5,461人

(70歳～79歳)	18,075人	▶	29,205人	+11,130人
-----------	---------	---	---------	-----------------

I 北九州市の雇用情勢

増加業種TOP3 (R2とH27比較)

1位 医療福祉 +2,357人

2位 サービス業 +1,090人

3位 教育・学習支援 + 236人

減少業種TOP3 (R2とH27比較)

1位 製造業 ▲3,971人

2位 卸・小売業 ▲3,719人

3位 生活関連サービス業 ▲1,661人

I 北九州市の雇用情勢

北九州地域の職業別有効求人倍率

(R7.1月)

職種間のミスマッチ

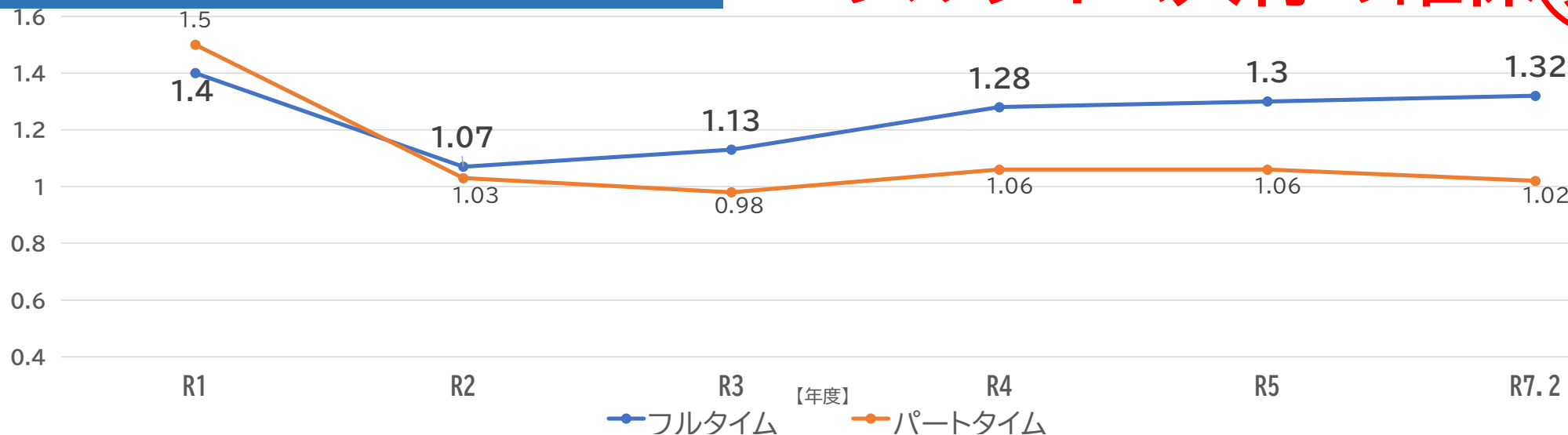
建設の職業：**5.01倍**

介護サービス：**3.71倍**

輸送・機械運転：**2.41倍**

有効求人倍率推移(R1～R6)

フルタイム人材の確保**難**



I 北九州市の雇用情勢

所得・収入関連の指標とベンチマーク

北九州市の雇用者一人あたりの雇用者報酬
政令市比較（県民経済計算R2）

（千円/人）



16政令市中
第13位

I 北九州市の雇用情勢

所得・収入関連の指標とベンチマーク

■ 北九州市の業種別従業者数 上位3業種（国勢調査R2）

1	医療・福祉	6万8千人（17.0%）	全体の <u>33.0%</u>
2	卸小売業	6万4千人（16.0%）	
3	製造業	5万8千人（14.5%）	

■ 北九州市の業種別所得分布（R4 民間給与実態統計調査）

～年収**500万円以上**の従事者数～

✓ 全産業の平均値	22%
✓ 電気・ガス・熱供給・水道業	42%
✓ 製造業	33%
✓ 情報通信業	31%
✓ 医療・福祉、卸小売業	15～16%

他業種と比べ所得が低位

Ⅱ 4つの課題

1 若者の採用や定着

2 多様な人材の活躍
(女性・シニア・外国人)

3 多様な働き方
(副業・スポットワーク・テレワーク等)

4 DX等の生産性向上

Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(雇用状況)

女性(25～44歳)
(就業構造基本調査)



(H29年度)
72.7%(76,000人)

+7.1pt(△4,600人)

UP

(R4年度)
79.8%(71,400人)
(全国平均:81.1%)

シニア(65歳以上)
(国勢調査)



(H27年度)
19.1%(51,417人)

+4.3pt(+10,719人)

UP

(R2年度)
23.4%(62,136人)
(全国平均:26.7%)

外国人(15～64歳)
(国勢調査)



(H27年度)
58.6%(3,559人)

+13.5pt(+721人)

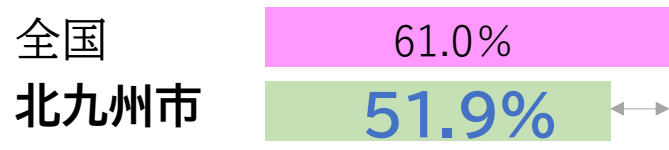
UP

(R2年度)
72.1%(4,280人)
(全国平均:77.1%)

Ⅱ 4つの課題

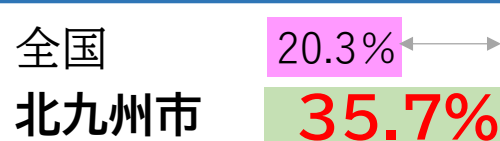
2 多様な人材の活躍(就業率が低い要因)・男女の意識

『女性がずっと職業を持っている方が良い』※1



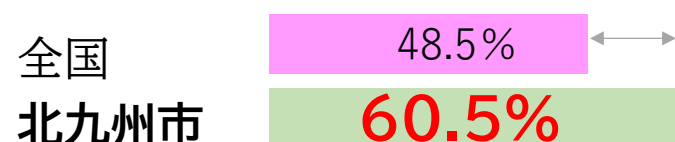
9.1pt低い

『子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかけられなくなって再び持つ方が良い』※1



15.4pt高い

『男性は仕事をして家計を支えるべきだ』※2



12.0pt高い

仮説

性別役割意識が根強く存在しているのではないか？

Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(就業率が低い要因)・シニアと企業の意識

シニアの意識 (就業構造基本調査)

仕事をしない理由が「高齢だから」 **45.3%** 政令市 第**1**位

希望する仕事がありそうにない **10.2%** 政令市 第**7**位

仮 説

仕事を探す具体的な行動に移れていないのではないか？

Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(就業率が低い要因)・シニアと企業の意識

企業の意識

(出所: R5年度北九州市雇用動向調査)

高年齢者の採用(事業所の割合) (R4年度) 42.8% ▶ (R5年度) **41.9%** (▲0.9pt)
(R2年1月: 36.6%)

【採用しなかった理由】

- ・面接等の応募がなかった 56.7%
- ・体力や健康面に不安がある 20.0%
- ・環境整備やノウハウが不十分 7.9%

仮説

- ・シニアが希望する雇用条件の提示ができていない
- ・漠然とした不安感から採用活動に踏み込めていないのではないかと？

Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(就業率が低い要因)・外国人採用について企業の状況

(R5年度)

(R6年度)

外国人の採用

18.0%



22.1%

(+4.1pt) (R2年1月:14.3%)

外国人材雇用についての考え

(『雇用したいと思わない』、『よくわからない』と回答事業所数n=455)

『受入れ体制の不備』

58.7%

『コミュニケーションが不安』

38.7%

『職場の規律保持の自信がない』

24.6%

仮説

漠然とした不安感から環境整備や採用活動に
踏み込めていないのではないか？

Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(これまでの取り組み)

伴走型による就業支援と人材供給

2,800人を
マッチング

➤若者ワークプラザ北九州

約**1,000**人/年

➤高年齢者就業支援センター

約**1,000**人/年

➤ウーマンワークカフェ北九州

約**600**人/年

➤外国人就業サポートセンター

約**20**人/年

➤UIターン応援オフィス

約**200**人/年

Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(これまでの取り組み)

リクルート社と連携 中小企業の採用力向上を支援

■支援内容

- ✓ リクルート社と共同で、**採用成功ノウハウセミナー**を開催
- ✓ **女性やシニア**が仕事探しで重視する**短時間業務やシフトの切り出し**
- ✓ 検索エンジンと連動した自社の**採用専用ホームページ**を開設
- ✓ 働きたいと思ってもらえる**求人情報の発信**

■実績（令和7年3月末時点）

➤ セミナー参加企業数	185社
➤ 自社専用ホームページ開設数	141社
➤ 求人応募獲得数	536人



Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(これまでの取り組み)

ミドルシニアと企業の出会いの場

中高年齢者雇用のノウハウを学ぶセミナーや、
就労を希望する中高年齢者(概ね40歳以上)
と企業とのマッチングを図る体験付き仕事説明会

45社、472人の参加(R5、R6)
(就職率:約30%)



Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(トピック)

目標

女性の自分らしい生き方・働き方の実現

18社、570人の参加

ロールモデルとの交流や
ITスキル習得によるキャリア形成支援、
女性の働きやすい環境づくり、
女性起業家のプレゼンス向上等を支援



〔 미래のわたし応援事業、女性活躍職場の拡大に向けた広報・専門家派遣事業、
 「女性が輝くリーディングカンパニー」創出事業 など 〕

Ⅱ 4つの課題

2 多様な人材の活躍(トピック)

外国人材の活躍促進

海外大学等との連携を強化して外国人材の獲得を促進

『市内企業の需要の喚起や課題の解決』

『就職後の定着支援』を支援

目標

100社 200人の支援